



第68号 2006年3月

発行:萩ネットワーク協会

〒758-8555 山口県萩市大字江向510 萩市役所広報課内

TEL0838・25・3178 FAX0838・26・5458

萩ポータルサイト「萩・情報の駅」

<http://www.city.hagi.yamaguchi.jp/portal/>

城下町・萩に春の訪れを告げる「第23回萩・椿まつり」が2月18日から3月21日までの約1か月間、笠山の椿群生林で開かれています。約60種、2万5000本のヤブツバキが自生し、今季は夏場に高温乾燥が続いたため、例年より遅い開花宣言となりましたが、花の時期が短くなった分まとまった開花が楽しめるとのこと。椿のトンネルの小径を、落椿の鮮やかな紅で染め上げます。

これまで土、日、祝日だけ運行していた無料シャトルバスを、平日にも1日4便運行し、観光客の利便を図りました。「椿見どころ案内人」が無料で、平日は予約制(交通費負担)で、椿群生林を案内します。申し込みは、萩観光ボランティア協会 0838・25・3527へ

春の訪れ

萩・椿まつり



萩焼展示施設、松陰神社宝物館	・・・・	P2
小泉首相が松陰の言葉	・・・・	P3
ふるさと文学散歩① 沢野久雄	・・・・	P4
ズームアップ「岡 俊太郎」	・・・・	P5
漁師「茂川達美」	・・・・	P6
ふるさと便り	・・・・	P7
萩の元気企業②「株井上商店」	・・・・	P8
萩ものがたり 4月発行	・・・・	P9

目次

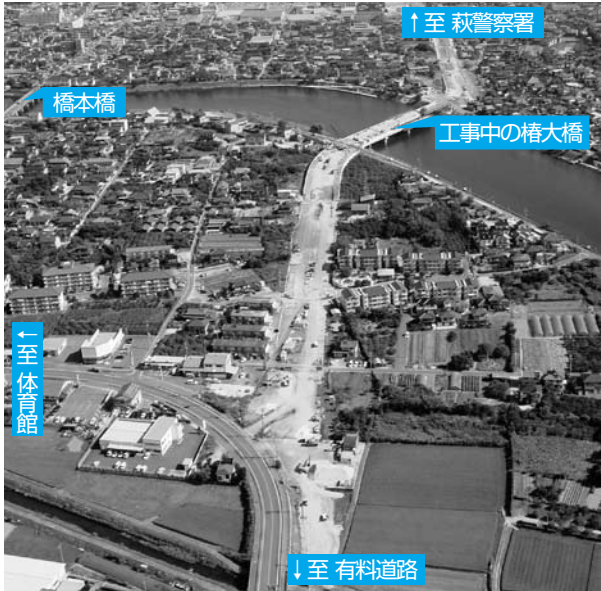
高校便り	・・・・	P10
私のお店、会員便り	・・・・	P11
夢道人「白田 豊」	・・・・	P12
萩博物館、浦上記念館だより	・・・・	P13
情報アラカルト	・・・・	P14、15
春のイベント	・・・・	P15
日本各地の「萩」①稗田小学校 (一坂太郎)	・・・・	P16
旬の味覚便り「ヤリイカ」	・・・・	P16

2006
▽
2007

道路整備

萩の中心道路が
大きく変わります

萩の玄関口、樺の中国電力萩営業所付近から萩警察署横までを結ぶ国道262号バイパス（4車線）を建設中です。これは、御許町の渋滞緩和を図るもので、現在金谷から川島を結ぶ樺大橋（長さ151m）を工事中、来年3月に開通。川島側には、ポケットパーク（駐車場）を作り、藍場川を散策する観光客にも便利になります。総事業費約100億円。
また、松陰神社前から長添山トンネルを抜け、「道の駅・萩しーまーと」までつながる県道萩川上線も工事中（2車線）で、開通は今年秋。総事業費約90億円。
いずれも完成すれば、樺地区（萩有料道路）から、松陰大橋を通り、しーまーとまでのルートが完成し、大変便利になります。萩の中心道路が大きく変わります。



↑至 萩警察署

橋本橋

工事中の樺大橋

←至 体育館

↓至 有料道路

2010
開館予定



建設予定地

萩美術館

山口県立萩美術館・浦上記念館

萩焼展示施設を増設

山口県は、萩焼の優れた作品を展示する施設を、山口県立萩美術館・浦上記念館の隣接地に建設することを決めました。2010年の開館を目指します。

萩市には萩焼の作品をまとめて鑑賞できる施設がなく、施設の整備を求める強い要望が出ていましたが、今年には国民文化祭が山口県で開催されること、県立萩美術館・浦上記念館が開館10周年を迎えることを受けて、施設が建設されることになりました。

今後、萩美術館・浦上記念館の国道沿い隣接地約3000㎡を取得し、約1800㎡の施設が建設されます。建物は、鉄筋コンクリートの地上2階建て。総事業費は約20億円。2008年から2年間で建設されます。

2006



ガラスで自然光を取り入れたつくり

田万川総合事務所 建て替え

下田方にある旧田万川町役場庁舎は、昭和37年から使われてきましたが、老朽化がすすみ建物が傾いていたため、建て替えとなりました。新庁舎は、同じ場所に建設中で、3月17日に完成。総事業費3.4億円、鉄骨造2階建、延床面積約987㎡。天井や壁に木材を多く使い、中庭を設けて自然光を取り入れた明るいつくりが特徴です。

2006



広々とした空間が特徴の新しい椿西小

椿西小学校 完成

昭和40年の建設から40年間、1841人の生徒を送り出してきた椿西小学校（濁淵）が、老朽化のため移転、建て替え。市民体育館横（雑式町）に新校舎や体育館、グラウンドを建設中です。総事業費約19・5億円、延床面積4256㎡。

新校舎は、地元のア武川流域材を使い、地域住民への開放エリアや、自由な形で授業を行う多目的スペースを備えています。3月27日に完成、4月10日に最初の入学式が行われます。

小泉首相 施政方針演説



志士は溝壑こうかくに在るを忘れず

松陰の言葉で

「志」の決意

— 安倍官房長官も松陰引用

第164通常国会が召集された1月20日、小泉首相が施政方針演説を行いました。

今回の演説で、首相が締めくくりに述べたのが幕末の思想家、吉田松陰の言葉。

幕末の時代、吉田松陰は、「志士は溝壑こうかくに在るを忘れず」（志ある人は、その実現のために、溝や谷に落ちて死ぬ覚悟を持つべきだ）という孔子の言葉で、志を遂げるためにはいかなる困難をも厭いとわない心構えを説きました。

首相は、学生時代に感銘を受け、政治家の原点となったというこの言葉を用いて、改革への決意を強調しました。

また、翌21日には、安倍官房長官が地元山口県での後援会の会合で、吉田松陰が最後に江戸に向かう際、弟子たちに伝えた「至誠にして動かざる者は、いまだこれあらざるなり」（誠実さをもってなしえなかったことは世の中にはない）という孟子の言葉を引用。安倍氏は「私も至誠をもってことにあたり、動することなく日本のために頑張っていきたい」と述べました。

幕末の難局に立ち向かった志士、吉田松陰の「志」は、130年以上経った今も、日本の政治を動かす大きな原動力となっています。



▷松下村塾前の建設予定地

プロフィール

昭和13年（1938年）兵庫県神戸市生まれ。昭和42年より萩市郷土博物館に勤務。平成10年に同館長を定年退職。その後も嘱託として郷土の歴史研究を継続。平成16年より松陰神社宝物館建設準備室室長。山口県地方史学会理事・山口県史編纂調査委員・山口県立図書館郷土出版物収集アドバイザー・史都萩を愛する会副会長。萩の歴史に関する講演・著書多数。



インタビュー

松陰神社
宝物館建設準備室長

近藤 隆彦さん

（萩市河添在住、68歳）

2009
開館予定

松陰神社宝物館



↑国道191号
（至長門市）

公开展示すること、そして、松陰先生の全てを正しく広く発信し、思想や行動の意味を発見、自分自身の行動を考えるきっかけとしてもらうこと。展示については、常設展示のみでなく、多くの遺品・遺墨をその時々テーマに沿って短いサイクルで展示替えをしたいと思います。

また、一つひとつの遺墨・遺品とじっくり対峙してもらえようように、一回に多くを展示するのではなく、一貫した展示ストーリーのもとに多様なゾーンで展開していきたいと考えています。展示室の一角には、境内にある松下村塾と同じ八畳の広さを持つ小部屋（村塾の観席）を設け、縦型のスリットを開け、そこから本物の松下村塾を見ながら解説を聞けるように工夫しています。

これまで神社関係者をはじめ、設計・建築・展示スタッフとともに議論を重ね、ようやく基本設計が出来上がり、実施設計に入っています。宝物館の規模は約500㎡、エントランス・ロビー・展示室・収蔵室・研究室・休憩コーナー・ミュージアムショップなどを配置した宝物館になります。館のコンセプトは、松陰先生の遺墨・遺品を確実に後世に残し、それを公開展示すること、そして、松陰先生の全てを正しく広く発信し、思想や行動の意味を発見、自分自身の行動を考えるきっかけとしてもらうこと。展示については、常設展示のみでなく、多くの遺品・遺墨をその時々テーマに沿って短いサイクルで展示替えをしたいと思います。

より多くの方々には、松陰先生の生涯を理解して頂けるよう、ロビーの無料展示ゾーンには大型グラフィックによる導入展示を展開します。具体的な展示内容については、今後さらに検討を重ねていきますが「分かり易い展示だけれどレベルは落とさない」、松陰先生の研究者にとっても、歴史ファンにとっても、また松陰先生についてあまり詳しくない人にとっても、興味と理解を深め満足できるような、ちよつと欲張りな展示を目指しています。

（談）

展示されるのは、山口市の県立美術館が所蔵する江戸時代前期の「古萩」の茶わん、三輪壽雪の水入れなど約400点。二井関成県知事は、「萩焼を全国にもPRし、また交流の場にもなるような施設にしたい」と話しています。

花と蜜柑と 萩焼と

—— 沢野久雄



春

が巡ってくるたびに今年はこの桜を見に行こうかと思ったりするのだが、誰しもそう思うほどに桜見の遠出はほしくないものだ。桜花爛漫の風情は日本人の心を捉えるに充分だが、とりわけ旅先で出会う予期せぬ桜の風景はことのほか趣がある。山陰の小都市萩も桜花の似合う町だ。

「挽歌」「道化師」「夜の河」などの作者沢野久雄は昭和45年4月、古い家並みと古い焼き物がみたくてという期待に胸ふくらませて萩のまちを訪れた。朝日新聞の記者から47歳で作家に転じ精力的に作品を書き続け、58歳のこの時期は連載物を立て続けにこなした後の心落ち着いた時期だった。

「萩にはこの町のどこでも出会った。そればかりではない、桜の幔幕を夏みかんの金色が飾るのである。この屋敷うち、その空き地・・・そう、ここでは夏みかんは山肌の畑に作るものではなく、古い家の広い庭に、あるいは道ばたのわずかな土地にも陽を受けて輝くものであった」と

と桜が彩り同時に夏みかんが姿を見せる萩独特の情景に感嘆している。

萩の町のみかんの風景は物語に満ちている。関ヶ原の戦いを西軍の総大将として敗北し、安芸の国からこの辺境の地萩に減封された毛利

氏は、260年にわたって菅々と築いた藩都をふたたび慶応3年(1867)山口に移鎮する。そしてすぐに王政復古、戊辰戦争、版籍奉還、廢藩置県と続くのである。わずかな一時金で禄を離れた下級武士の困窮は想像に余りある。小幡高政らは殖産活動の一つとして夏橙の栽培を奨励したのである。武家屋敷はどこも白い土塀を防風壁として蜜柑栽培に勤しんだ。結果どこの塀からも夏蜜柑が顔を出し、甘い香りがまちいっばいに漂うこととなったのである。

沢野は焼き物についての造詣が深く、萩焼についてはこのほか興味深げであった。

案内に立ったのは当時萩工業高校の先生だった沢本良秋さんと萩市観光協会の山根文二さん。沢本さんは萩の観光について思い入れが強く、「萩散歩案内記」を著している。山根さんは萩市の観光行政に長く携わった後協会に移った方と共に案内役としては最適の人たちだ。訪れた十一代窓元坂高麗左右衛門氏邸では、「木々の芽立ちの緑の中に仄かにあかい吉野桜に迎えられる。坂家の広々とした客間ではピワ色の陶器がならべられており、運ばれてきた抹茶の色は茶碗の底で翡翠のようであった」と書いている。

坂さんは「工芸というものは、やっぱり用が第一です。美は第二

です。」と使う楽しみについて熱心に語り、ご自分の考えに何の疑念もない。「私はそこに360余年も続いてきた伝統の強さをみ」と沢野は感想を述べている。

また、「初代高麗左衛門の作品は、ネズミ色の重量感のあるものだった。二代助八の茶碗は乳白色で手にすれば重いだろうが、それでいて華麗である。それが四代五代となると、おおどかな要素が減るようだ。おそらくそれぞれの時代を、世相を、反映しているのだろう」と沢野は萩焼の歴史に磨かれた重厚さに圧倒されながらも、風雪を包み込んで輝く土と炎の芸術品に満足感を示している。

沢野は、松下村塾を訪れ吉田松陰やその門下生たちの交わりに耳を傾けた後、城下町で高杉晋作や桂小五郎などの旧宅を目にして、「遙かなロマンチズムが急に生々しくなるようだ」と表現している。

また、「春日の中にやや眠たげな町が、百年前には革新、気鋭の町だったのだ。この二つの町の顔は、私がこの町を立ち去るときまで、私の中でいくらか離反し、抗争しつづけるようだった」と。記者であり作家であった沢野の思考回路には、この辺境のおだやかな土地が維新胎動の壮大なエネルギーを秘めていたことに、もう一つ合点がいかなかったのだろう。あ

るいはまた、その対局の風景こそが、逆に強力なエネルギーの発露を容認しうる心象風景だったのかもしれない。いづれにしても、萩の町の静かでおとなしい風情と町のそこそこ点在する歴史的事物の奥深さは、沢野の心を満たすのに充分であった。沢野は夕刻、ホテルに入ると心の安らぎは倍加する。

「半世紀以上も経つという日本風の宿は、苔深い庭といい、広い廊下といい、その廊下の片隅に置かれた行燈風な燈火さえ、しつとりと落ち着いていて静かだった。部屋に入ると、これも五十を過ぎていると見える人が、茶を捧げてきた。立ち居振る舞いが折り目正しく美しい。萩を語る言葉にも不思議な気品があった。」と。

時代は移ろい萩の町も変化化する。古い萩の町の叙情を伝え、沢野の心を包み込んだこのホテルは、唐樋町にあった常茂恵。いまは装いを新たに土原の松本川の河口に面して静かに立つ。厚東家の嫁でもある女将は「昔は文士さんらがしばしば逗留されました。昔造りの建家と静けさが都会の方には良かったのでしょうか」と昔日を懐かしむ。住む人には羨らぬ日常だが、旅行者には「時の停止を感じさせる非日常の風景」なのかもしれない。

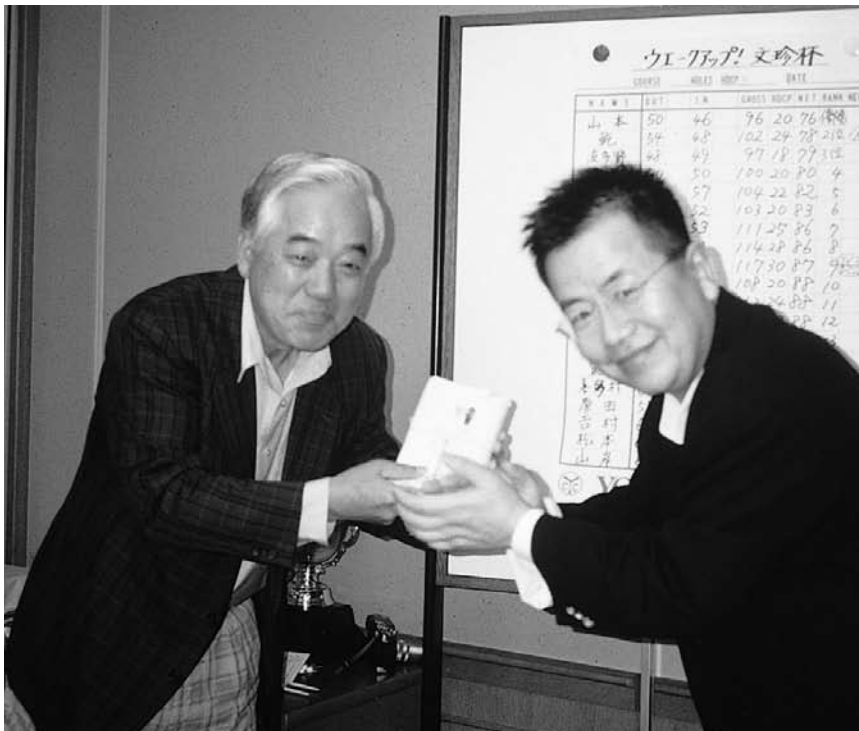
高井 誠(エッセイスト)

日本ペンクラブ会員

(株)よみうり文化センター専務取締役

岡 俊太郎 氏

兵庫県在住、福栄村紫福出身
昭和38年萩高校卒 60歳



△チーフ・プロデューサー当時、落語家桂文珍さんと

— 私の近況

「10秒前!」フロアマネージャーの鋭い声で、ざわついていたスタジオは一瞬静寂に包まれる。キャスターはカメラの赤いタリヤーを確認する。「3秒前!」そしていつものオープニングミュージックが沈黙を破って賑やかにスタートする。今日もまた「ニュースプラス1」が始まったのだ。

昭和42年、草深い紫福から東京の大学を経て読売テレビ(大阪)に入社、アナウンサーとなった私は、おおむね23年間、分秒に明け暮れるこんなテレビ生活を送った。アナウンサーは標準語を喋らなければならぬ。長州弁は比較的標準語になじみやすく、発音やアクセントの特訓の中で私はそんなに苦労はしなかったが、富山出身のさるアナは「標準語アクセント辞典」を1ページずつ覚えては破って飲み込む難行苦行で周囲を驚かせた。

ナレーションが好きだった私は番組で女優の市原悦子さんとコンビを組み、詩を二人で朗読する願ってもないチャンスを得たことがある。これは気持ちが良かった。ひと時「日本昔ばなし」のおじいさんになった気分がした。

その後は当時西ドイツのボン特派員をやり、今もKRYで十曜朝に放送している「ウエークアップ!

プ!」の初代プロデューサーで四苦八苦したりした。

昨年夏から働いている大阪千里のよみうり文化センターにはスイングスクールがあり、着任早々の会員報巻頭あいさつを次のように書いた。

私の出身地は山口県萩市です。萩は維新の志士を輩出した城下町として知られ江戸時代の地図がそのまま現在も通用する古い家並みの続く町です。今は小学校になっている萩藩校跡には当時の剣道場「有備館」とともに日本最古といわれる江戸時代のプール「水練池」が残されています。藩は新しい時代に立ち向かうために武道とともに水練(水泳)を取り入れたのです。あの高杉晋作も伊藤博文もこのプールで泳いだのではないでしょう。進取の精神に満ち溢れていた時代、剣道場のすぐそばに西洋式のプールをつくり人材育成に励んだ萩藩の意気込みが伝わってきます。云々。こんなことを言っていたら萩市役所から「萩まちづくり懇話会」に出席して意見を述べよと言われた。

— 萩への一言

萩再生の鍵は一言でいって人口増にかかっている。長期的・短期的滞在者を増やす施策を考えることだ。当面、短期滞在に集中する。



▲水練池(すいれんいけ)
藩政時代、遊泳術、水中騎馬が行われた。藩校の水練池で国内に現存する唯一のもの。

団塊世代Uターンにしてもまず体験してもらおう制度が第一歩。観光ではあの京都でも「京都体験はいかが」と尼僧修行やお香づくりなど滞在型に力をいれている。松下村塾でも当時の講義を再現する寸劇を見せるとか工夫が必要だ。長崎では離島の高校生留学制度、島根・海士町はニートの若者短期受け入れなど自治体も必死に知恵を絞っている。短期でもいい。萩に来てもらうことを考えよう。

今、郷土を遠く離れて住む者は誰も彼の地を懐かしみ、愛し、萩が活気溢れる町として甦ることを願っている。がんばろう萩!

■プロフィール

1945年(昭和20)3月2日生まれ、63年萩高卒、67年早稲田大卒、同年読売テレビ放送入社、アナウンサー、報道局長、上席執行役員総務局長を経て、05年よみうり文化センター専務取締役。兵庫県芦屋市在住

※05年秋、06年春に東京・大阪・福岡で開催した「萩まちづくり推進懇話会」(萩出身者と萩市長の意見交換)に出席された方を順次紹介します。



インタビュー

漁師
もがり たつみ
茂川 達美さん
(阿武町在住、56歳)

▲自宅敷地内に日曜大工で作った交流スペース「海辺のスタジオ」前で

191号線を益田方面に走り、JR宇田郷駅のY字路を海辺の方向に進むと尾無（おなし）港がある。約30戸の小さな漁村集落、そこを拠点に本業漁師の傍ら「町のプロデューサー」として活動する茂川さんを訪ねた。

25年前、首都圏からUターン

生まれはここ尾無です。奈古高校卒業後、東京の繊維会社に就職し、13年間で首都圏でサラリーマンとして過ごしました。昭和56年、思い立って帰郷。職安に行つて職探しをしましたが、給与水準はなんと都会の半分、これなら家の漁師になったほうが、マイペースが貫けて良いと判断しました。さつそく退職金で新造船を購入し、一本釣り漁を中心に漁師修行をスタート。

当時は海の資源も豊富で、うだつのあがらない自分でも大型のヒ

ラメなどをたくさん釣ることが出来ました。かれこれ25年になります。今でもその船（加州丸）で、主に潜水漁に従事しています。

田舎が持つ癒しの価値

都市部に長く居たため、いまでもその当時の友人知人との付き合いが続いています。彼らに会うとなにか都会生活に心が疲れているような感じを受けます。「二度、こちらに遊びにきてゆっくりしたら」というのがきっかけになって、都市部から多くの友人知人が訪ねてくるようになりました。

ここに住む者としては、何にも無い風景なのですが、都市部の人たちにとつて、この風景はとつても心が安らぐようです。単なる風景というより、海からの風や陽だまりの空気の匂い、そして港で作業する老漁師の声、帰港する漁船のエンジンの音、ここ尾無に普通にあるものが、都市部の人たちにとつては、悉く「癒し」の素となるようです。いわゆる最近流行りの「オープン・エア・リラクゼーション」ですね。

都市部からの訪問者の集う場所として、自宅一部を改造してAV完備のスタジオを作ったり、海辺の漁師小屋を改造してミーティングルームにしたりしています。このミーティングルームも、都市部から来た仲間たちと一緒に日曜大工で内装工事をしたんです。

清ヶ浜鳴き砂復活活動

ずっとここに住んでいたら多分分らなかったと思いますが、自分も都市生活者でしたので「田舎が持つ癒しの価値」は実感として理解できます。「都市部住民との交流促進」は地域興しの重要施策、阿武町も地域を上げて取り組んでいます。田舎・都会その両方の視点で物事を見、そして考えることができる自分は、そのなかで貴重な存在、阿武町の良さを都市部に売り込むプロデューサーとして、

いろいろな活動しています。そのひとつが、「清ヶ浜の鳴き砂」。海洋環境の変化やゴミの漂着で、かつてキュッキュッと鳴いた砂がいつのまにか鳴かなくなっていました。住民ボランティアを中心に行政も巻き込んで海岸清掃を繰り返した結果、3年前にある鳴き砂が復活。マスコミ等でもこの活動が取り上げられ、阿武町の新しい名物として多くの方々の関心を集めました。

海辺往還を新しい観光ルートに

そして、今、プランを温めているのが萩から田万川に続く「海辺往還」。かつて殿様が通った道はほとんど消失していますが、国道191号線の旧道を、観光ルートとして売り出したいと考えています。多分ご存知ないと思いますが、JTB発行のガイドブック・るるぶ山陰（秋・津和野）の表紙写真は、この旧道の海岸風景が、また小学

館の雑誌ラピタの特集でも、この旧道から見た山陰線鉄橋の写真が大きく使われています。

現在の191号は効率重視のバイパス道ですが、旧道は集落から集落をつなぎ、海岸沿いをトレースするように曲りくねりながら迎える道。そこかしこに日本海の雄大な風景や、都市部の方々を癒す田舎の生活風景が色濃く残っています。まずは、手作りのルートマップを作るところから始めたいと考えています。

(談)

■プロフィール
昭和24年9月生まれ。宇田小、宇田中、奈古高校卒業。昭和43年東京の繊維会社に就職。昭和56年帰郷し、漁師に。
鳴き砂復活活動隊長、むらまち交流クラブ会長、阿武町海交流実行委員会など、都市農漁村交流の分野で活躍中。



▲漁師小屋を改造したミーティングルームの窓から尾無港の風景



▲自費出版が2冊。柔らかな視線で切り取った田舎の風景と、茂川氏の気取らないメッセージが収録されている。



ふるさと便り

萩地域 映画「長州ファイブ」萩ロケ

昨年12月10日から、映画「長州ファイブ」の撮影が市内各地で行われました。

撮影に先立ち五十嵐匠しやう監督、俳優ら80人が松陰神社で、撮影の安全と映画のヒットを祈願。

撮影は、熊谷美術館で始まり、雪の積もったむつみ自衛隊演習場で英国領事館前のシーン、旧久保田家住宅と旧湯川家屋敷で京都祇園のシーンが撮影されました。

特に17・18日には、越ヶ浜の虎ヶ崎で、1862年（文久二年）8月に起きた薩摩藩士による英国人殺傷の生麦事件のシーンを撮影。

萩博物館では、映画にあわせ、7月から企画展「長州ファイブ」でゆかりの書簡などの品々を展示します。

大名行列役に地元エキストラを含む総勢180人が出演しました。最高気温3℃。この冬一番の寒さとなったこの日、日本海の寒風が吹き荒れる中、素足に草履という格好で、朝6時から寒さで凍えながらの撮影が続きました。

撮影はイギリスでも行われ、秋に県内で先行上映、07年春には全国公開の予定。

萩博物館では、映画にあわせ、7月から企画展「長州ファイブ」でゆかりの書簡などの品々を展示します。



むつみ地域

萩も大雪、除雪車両大忙し

全国的にも大雪だった今年の平成18年豪雪。萩も昭和38年の豪雪以来の大雪といわれ、12月から道路が積雪や凍結に見舞われました。

萩と山口や、萩と津和野を結ぶ道路の山間部は、特に雪が多く、むつみの高俣地区では60cmの積雪

を記録。腰の高さまで積もった雪を除けるため、むつみ地区の除雪車両は、フル稼働。

合併して広がった萩市。山間部では、除雪車両は冬場に欠かせない存在です。



萩地域

萩博物館入館者 15万人突破！

萩博物館の入館者が、1月17日、15万人を突破しました。一昨年の11月11日の開館から433日目の記録。15万人目は、東京都渋谷区の斎藤止一郎（72歳）さん。妻の芳枝さんと観光に訪れ、萩は今回で4回目。



「1月早々縁起が良く、今年はいい年になりそう。萩は静かで落ち着いていて、懐かしい気がします」

阿武町

90歳で現役理容師



元老人ホームの設立から毎月1回、今はじき夫とともに入所者の理髪奉仕作業を始め、平

長年にわたって町の政治、産業、福祉などに功績のあった個人や団体を広く賞揚する「第41回阿武町選奨式」が、2月11日、阿武町役場で行われ、10人の方に選奨状が贈られました。

成11年までの約36年間、活動を続けてこられました。「涙を浮かべ喜ばれる皆さんの姿を見て続けることができました。人の喜びが自分の喜びとなることほど幸せなことはありません」

このうちの一人、田中カメさん（90歳・奈古）は、昭和36年の地

なお、田中さんは今も理容師として活躍中です。

萩の元氣企業探訪

(株)井上商店

萩産の全国区商材として、真っ先に思い浮かぶのが「しそわかめ」。昭和55年の発売から何と25年の超ロングセラー、その商品を開発した(株)井上商店・代表取締役社長 井上伊三郎氏にお話をお聞きしました。



△本社(萩市東浜崎町9-1)

ロングセラー商品「しそわかめ」の誕生

わが社の看板商品といえば、やはり「しそわかめ」でしょう。発売は昭和55年。絶対の自信を持って投入した商品でしたが、これが全く売れない。なぜこんなに美味い商品が売れないのか、頭を抱える日々が続きました。辿りついた答えは、「とにかく一度食べてもらって、その味を知って頂く」こと。当時、デイスカバージャパンの旅行ブームで、萩の町は観光客で溢れかえっていました。観光客に「しそわかめ」を味わってもらえば、その方々が帰ったその土地その土地で宣伝してもらえ、お土産として配っていただけじゃなく、またそれが宣伝になる。当時のお金で300万円を投じ、「しそわかめ」専用の小皿を作り、市内県内のホテル旅館に配付、膳の一品



△ロングセラー商品「しそわかめ」

「お客様の声に耳を傾けることを怠らず、絶えず自社の製品やサービスを厳しい目で見続ける事が大切」



△井上伊三郎氏

を送って欲しいとか、どこで売っているのかといった問合せが増え、「これは全国でやれるのでは」と思いました。そこで始まったのが、百貨店・スーパー等に炊飯ジャーを抱えての、しそわかめ試食販売の全国キャラバンです。全国各地の百貨店・スーパーを1箇所ずつ順繰りに巡る地道な販促作業でしたが、効果は抜群。その積み重ね

でわが社は、全国区という高い壁と居続けたところ、先方も痺れを切らして、それなら弁護士先生のところにご案内しましょうというところに。弁護士事務所、当方の話を聞き終わった弁護士が、同行したにんべんの担当者に、「私はこの案件から降ります」と一言。にんべんの担当者は驚いていましたが、要するに当方に悪意のないことを認めて頂き、悪意のない者を責めるようなことはできないと、弁護士は道義的な判断をされたようです。事務所を辞するとき、井

上伊三郎氏、絶えず自社の製品やサービスを厳しい目で見続ける事が大切。販売の思わしくない商品は即座に新たな商品に切り替えるなど商品のスクラップ&ビルドを絶えず繰り返しています。販売チャネルについても、平成3年の下関営業所・福岡営業所の開設を皮切りに、東京・札幌・大阪と営業拠点を拡大、伊勢丹・三越など全国の主要な百貨店グループや大手中堅のスーパーチェーンと継続的な取引を頂いています。産直販売にも

萩

ブックレットシリーズ 萩ものがたり ⑨ ⑩

ものがたり

4月発行!

シリーズ第1巻の発行から早2年が経ちました。定期購読会員数が約1,300人、書店や土産物店での一般販売も順調で、多くの読者から好評を得ています。お問合せ・購入申込みは、

◆有限責任中間法人萩ものがたり

(0838・25・3233)まで。

■定期購読会員を募集中!

定価割引の特典があり、確実にお手元に、送料は無料。

⑨ 吉田松陰と現代

加藤周一 著

いま吉田松陰に学ぶべきものは何か。松陰の現代における意義、あるいは松陰の生涯の作品を「現代」に翻訳すればどのような意味を持つのか、縦横に語る。2004年10月、萩市民大学教養講座での講演・質疑応答を整理し加筆。巻末に著書「日本文学史序説」の中から「吉田松陰と1830年代の世代」を収録。



A 5版 / 64 ページ
600円

⑩ 萩沖の魚たち (春・夏編)

中澤さかな、堀成夫 著

萩は豊かな海に恵まれた水産の町、味覚の町。魚市場に水揚げられる四季折々の魚介類の多種多様さは、産地市場として全国トップクラス。今編は、春と夏の魚介約25種を、道の駅萩シーマーとの駅長が食材の観点から、加えて萩博物館の研究員が、魚種ごとの興味深い話や、萩の海の面白いエピソードを紹介します。



A 5版 / 72 ページ
600円

既刊好評発中!

- ① 萩の椿 600円
- ② 高杉晋作(100問100答) 500円
- ③ 萩開府 600円
- ④ 萩まちじゅう博物館 600円
- ⑤ 松陰先生のことば 500円
- ⑥ 密航留学生「長州ファイブ」を追って 600円
- ⑦ 萩と日露戦争 500円
- ⑧ 萩の巨樹・古木 600円

★プレゼント

読者のみなさん3名様に抽選で井上商店オリジナル商品の詰め合わせをプレゼントします。ご希望の方は、官製ハガキに住所・氏名・電話番号・近況など明記の上、萩ネットワーク協会プレゼント係までご応募ください。3月31日消印有効。



△旅館ホテルで供された特注の小皿

として宿泊客に提供してもらったことにしました。小皿には「山陰名産 しそわかめ」の文字がデザインされており、「しそわかめ」を食べるとその文字が目に入るという仕掛けです。この作戦は大当たり、食事の後、旅館の土産売場で「あのしそわかめが美味しかった」と購入されるお客様が続々。これには手ごたえを感じました。暫くすると、全国各地から「しそわかめ」

会社存続の危機も...

ようやく「しそわかめ」の全国販売が軌道に乗り始めた頃、大事件が起こりました。その一報を受けた時、ああ、これでこの会社は潰れると正直思いました。意匠権のトラブルです。当時は井上家の屋号であったこのマークを商品パッケージに使用していました。このマークが、花かつおで有名な大手メーカー「にんべん」と偶然同じものだったのです。にんべん側から損害賠償請求の連絡があり、その金額は莫大なものでした。大方としては、意匠の不正使用の悪意などある訳もなく、弁解のため東京のにんべん本社に駆けつけましたが、この件は弁護士に任せてあると面会してもらえない。「お話を聞いて頂くまで帰れません」

自社製成品を

お陰様で「しそわかめ」の販売数量は近年も増加基調で、消費者の皆さんの支持を頂いているようです。もちろん取り扱い商品は「しそわかめ」だけではありません。もずく・めかぶ・青海苔などの海藻類の加工品、フグ刺しやふぐ雑炊・ふぐのスープなどのフグ加工品、海の幸を活かした各種ふりかけ、そして瀬付きアジやケンサキイカなど萩前浜の魚介類の一夜干し製品など、多種多様なオリジナル商品を開発し、製造販売しています。現在、お客様のニーズの多様化やその移ろい易さなど、難しい商売環境になってきていますが、お客様の声に耳を傾けることを

敵ついで見続ける

いち早く取り組み、インターネット販売も積極的に展開中です。今後についても、消費者ニーズに合致した新商品の開発、そして「しそわかめ」発売当初の地道な努力を忘れず、全国津々浦々どこでも当社商品を手に取っていただけるよう、さらなる取り扱い店の拡大に努めて行きたいと考えています。(談)

■会社プロフィール

株式会社井上商店(本社:萩市東浜崎町9-1) 明治4年創業、昭和36年株式会社化、昭和55年ソフトふりかけ「しそわかめ」を開発、山口県の代表的な産品として評価を受ける。
昭和59年油谷工場開設により従来の乾燥加工品に加え、チルド製品・ウエット製成品の開発製造を開始。資本金2100万円、従業員数160名、全国主要都市に支店・営業所を展開。

萩商工

校章決定

今春4月に開校する萩商工高校の校章が決まりました。県教育委員会が2月7日に発表。

青森県弘前市のデザイナー工藤和久さん（40歳）が制作。萩商工とハイスクールの「H」を基調に、「空と海」と「大地」をイメージさせ、豊かな自然の中で未来に伸びる高校を象徴的に表現したものです。



昨年12月の約1か月の募集期間に26点の応募がありました。初の入学式は4月10日です。

萩工業ラグビー部

惜しくも2回戦敗退

昨年の全国高校ラグビーフットボール大会で、大会初日の12月27日に石川県代表の日本航空第二と対戦。持ち味のバックスのスピードを生かして6トライを奪うなど34対5と圧勝。

2回戦は、30日に岩手県代表のシード校、黒沢尻北と対戦。序盤リードを許すものの、後半7分に逆転。その後

も相手陣内で攻め続けましたが、終盤黒沢尻北に立て続けにゴールを奪われノーサイド。24対36で惜敗しました。

「夢の花園で思い切り走り回れた」と山根主将



目標のベスト8には届かなかったものの、健闘した選手たちにスタンドからは大きな拍手が送られました。また、萩工は開会式で明るく元気に入場行進したチームに贈られる「フィールドドリーム賞」を受賞しました。

萩高

本館 建て替え中

北側の正門入り口にあり、昭和33年から管理棟として使われてきた本館が、老朽化のため建て替えとなりました。

本館は47年の歴史があり、校長室や事務室、図書室などが入っていました。また、旧音楽室（グラスバンド部室）や旧相撲部室も併せて取り壊されました。

2階建ての新本館は今年7月末に完成予定。萩高同窓会の八・八会には、お目見えします。



△昨年12月から工事中の萩高本館

前年比4.5%減

昨年の観光客数136万人

萩市観光協会がまとめた昨年1年間の観光客数は、136万3645人で、前年に比べ4.5%減少しました。宿泊客も41万8630人の5.5%減で、特に修学旅行客が1万3873人で25.9%減と大きな落ち込みとなりました。

はぎ温泉のスタートなど、プラス要因はあったものの、愛知万博への観光客の集中や、12月の寒波襲来による宿泊客のキャンセルが相次いだことが減少の要因と同協会は分析しています。

野村萩市長は「今年は大規模の寄港が増える。11月には国民文化祭が開かれ、萩にも大勢の人が訪れるだろう」と期待を寄せています。

海からの観光

大型客船が続々来萩

■スピリットオブオセアニア 3月17日(金)から11月7日(火)にかけて計9回入港

萩に初めて寄港するバハマ船籍。乗客定員114人。

■クリッパーオデッセイ 4月25日(火)から8月11日(金)に計6回入港

毎年来萩するお馴染みの客船。乗客定員120人のバハマ船籍

■ばいびいっくびいなす 9月4日(月)入港

日本最新のクルーズ客船。乗客定員696人の日本船。

国民文化祭06

今年山口県で開催 11月3日～12日

我が国最大の文化の祭典「国民文化祭」。萩市でもさまざまなイベントが開催されます。どうぞお楽しみに。

■陶芸展▽11月3日～12日▽萩市内の武家屋敷等

■文芸祭「川柳」▽11月4日▽萩市民館

■シンポジウム「歴史とまち並み」▽萩市民館ほか

■たまがわdeフラメンコ▽11月4日～5日▽萩市田万川コミュニティセンター

■民謡・民舞の祭典▽11月11日～12日▽萩市民館ほか



麻 樹

—神戸市中央区—

私のお店

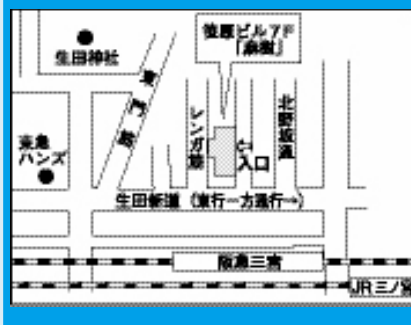
古川真紀子さん

(萩高13期・昭和36年卒業)

神戸市中央区北長狭通1-20-2

笹原ビル7階

TEL 078・331・9198



ママの古川さんは、堀内の旧二宮家長屋門の出身（口羽家住宅から約50m東側）。昨年、開店30周年を迎えた。リーズナブルな価格で、手作り料理でもてなす、居酒屋風スナック。出身地の萩だけでなく、山口県の方が来られると嬉しくなる。モットーは、お客さんが気楽な雰囲気です。立ち寄って、ほっとしていただけること。また萩のかまぼこを取り寄せていて、お客さんから「おいしいね」と言っていたら、我がことのように嬉しい。「多くの方が萩を知っておられます。ふるさとにほこりを持てる私は、幸せです」

近くには、地元プロ野球やサッカー球団が毎年必勝祈願に訪れる生田神社や、阪急三宮・JR三宮駅があります。ぜひお越しください。

会員からのお便り めーるぼっくす

○野崎靖央（東京都世田谷区）

数年前より購読し、萩の近況がよく分かるようになりました。首都圏は12月以降大変に冷え込み、鍋料理の日数が多くなりました。岸田商会在5月に青山で開店される和風レストランにぜひ行ってみたいと思います。

○矢野千代子（静岡県島田市）

「ボン酢」は、なつかしい萩のみかんの薫りがします。静岡はみかんがたくさん取れるのですが、やはり萩の夏みかんの薫りにあこがれます。今年はとても寒くて二度も雪が舞いました。

○堀 明人（兵庫県伊丹市）

定年退職後、毎日サンデーの生活です。毎年数回帰萩し、同期生と親交を深めています。今年も1月20日過ぎに橙もぎに帰萩し、2月初旬には岸田商会在が集荷に来ます。私の収穫した橙がどのようにボン酢にかわるのか楽しみです。

○猪山典子（福岡県久留米市）

昨年12月放映の「おーいニッポン」は、ゆっくりくつろぎつつ萩を堪能でき、大照院での殿様御膳再現は圧巻でした。

家族それぞれ趣味は違えど、萩に向かえば全員笑顔。我が家のキーパーソンとは言いすぎでしょうか。

○藤田薫（下関市）

昨年の合併で、我が故郷「福栄村」も萩市となり、愛着を持っていた地名（特に「村」）がなくなつた事は淋しく思います。私の出身地である黒川は萩市大字黒川となり、果たして黒川とは萩市のどこに在るのか、戸惑う人も多いのではと思います。



北越戊辰戦争における長州奇兵隊

「いま越後小千谷に蘇える」
1867年、日本が近代国家として生まれ変わるうとした戊辰戦争では、小千谷が激戦の地となりました。

それから、137年経った2004年（平成16年）10月23日、新潟中越地震が発生。小千谷市は震源地に極めて近く、12人の尊い命が失われ、多くの家屋が倒壊し、

文化、史跡等が想像を絶する被害を受けました。

なかでも、船岡山西軍墓地には、奇兵隊参謀時山直八をはじめ長州藩73基の墓碑と、薩摩、上田、松代など約200基の各藩士の墓が祀られていましたが、ことごとく倒壊。小千谷の人々が、長年大切にしてきた墓が荒廃したら、北越戊辰戦争の真相が忘れ去られてしまつと「小千谷北越戊辰史跡復興支援の会」を組織。会には、全国からあたたかい励ましや、多くの支援、善意をいただきました。

墓地復旧は、昨年9月に工事着手。自分の住む家や農地等、甚大な被害を受けたにもかかわらず、多くの市民がボランティアで参加。皆さんのおかげで、10月16日、修復完成を記念する式典を催すことができました。

今、小千谷は深い雪ですが、復旧された墓地に長州奇兵隊の73人の隊士は、心静かに眠っています。が、間もなく来る爛漫の桜花舞う船岡山公園で蘇ってくると思えます。

小千谷北越戊辰史跡復興支援の会
事務局長 廣井 一

★事務局からのお知らせ

クラス会、同窓会、皆さんからの投稿記事をお待ちしています。萩ネットワーク事務局まで、お送りください。



萩焼ぎやらりい彩陶庵 代表取締役社長

白田 豊 さん (43歳)

(萩市椿青海在住)

萩城下町にある萩焼ぎやらりい彩陶庵の代表に昨年1月就任。若手萩焼作家の個展やグループ展開催のバックアップ、萩焼を通じての萩市観光活性化など、精力的な活動を行っている白田さんにお話を聞きました。

東京から移住、サラリーマンから経営者に転進

出身は東京都世田谷区、大学卒業後、大手ペットフードメーカーに入社、営業畑を中心に9年間のサラリーマン生活を送りました。結婚と前後して、西武百貨店の商品部に転職、全国27店舗で実施される美術系催事の企画支援を担当しました。

そして今から11年前の10月、家内の実家がある萩に転入、実家の稼業である彩陶庵の後継者として専務取締役任に。

萩に来た当初は、観光客も多く、店の前の通りはいつも途絶えることなく観光客が歩き、萩焼もよく売れていました。今から思えば、とつても楽に商売ができた時代だったと思います。それから3年ほどはまずまずの

状況が続きましたが、その後ガタと音をたてるように売上が厳しくなり、現時点も正直厳しい状況が続いています。

サラリーマン時代は「経営」という感覚は全く無かったですが、萩に来ていきなり経営者の立場、商売の面白さと、難しさをじっくり味わった11年間でした。昨年1月に父から代表取締役を引き継ぎましたが、この厳しい状況を、なんとか改善の方向に向けてよう努力しているところです。

具体的には、萩焼だけでなく、ガラス工芸やアクセサリ工芸の分野に取り扱いの分野を拡大しようと考えています。都市部では結構高額のアクセサリ類の売れ行きが伸びており、質の高い商材を厳選して扱えばお客様を確保できると感じています。手始めに、この6月、県内で活動するアクセサリ作家のグループ展を、この彩陶庵で開催する予定です。

若手萩焼作家の活動を支援

今最も力を入れているのは、若手萩焼作家の育成です。現在の萩の中心的作家は、40代後半から50代後半の年齢層が多く、その作品レベル・認知度ともに高く、まさに黄金時代、その次の世代の今後の活動如何で、陶芸界・工芸界における萩のポジションが大きく

く変わってきます。

今、萩では、大和努・野坂和左・金子司・濱中史郎・波多野英生など30代の作家がようやく活路を見出しつつあるという状況です。あと10年もすれば、彼らの世代が萩の作家の中心になるわけです。個展・グループ展の開催や積極的な情報発信などを中心に、彼らの今後の制作活動の拡大を様々な方法で支援していき、ひいてはギャラリー運営の立場から、萩焼の発展に寄与できればと考えています。

若手作家を育てていくひとつの手段として、韓国の陶芸作家との交流を現在画策中です。韓国の美術大学教授と連絡を取りながら計画進行中ですが、来年の6月頃ソウル市内のギャラリーで日韓の若手作家展を開催予定。これからの作家は、より多くの地域の作家や美術関係者そしてコレクターと交流する機会を持ち、刺激を受けつつ視野を広げていくことがとても重要だと考えるからです。

第2回目となる2009年の日韓交流展の開催は、この萩の地で私自身がコーディネーターになって開催する予定です。

景気回復の出口が見えたというものの、まだまだ実感が伴わず、地域の定住人口も減少の一途、頼みの観光客数も年率5%のダウン、この厳しい状況はこれからも続く

のではないかと思います。

しかし、萩焼は、この地域が持つ他には無い貴重な財産です。この世界に身を置く自分として、何ができるかを常に考え、そして、ひとつづつ着実にカタチにしていきたいと考えています。

プロフィール

1962年(昭和37年) 6月東京都生まれ。東京農業大学農学部畜産学科卒業。大洋ペットフード(株)↓(株)西武百貨店(商品部・美術部)1994年萩市に転入。2005年1月(有)彩陶庵代表取締役就任。現在、日本陶磁協会萩支部事務局、萩市観光協会理事など。趣味はスポーツ観戦・美術音楽鑑賞、特技はパソコン。

■有限会社 彩陶庵
山口県萩市呉服町1-3
(TEL)0838-253110

彩陶庵ホームページ
<http://www.saitoan.com/>



▲白田さん自身が運用。若手作家の作品情報が盛りだくさん!



▲店舗は、白壁が有名な菊屋家住宅の道隣

萩博物館だより

(08388-256447)

企画展

幕末維新の群像
晋作と龍馬

4月22日～6月18日

世の人はわれを何とゆはゞいへ
わがなすすることはわれのみぞしる

坂本 龍馬

人は人吾は吾なり

山の奥に棲みこそ知る世の浮沈

高杉 晋作

長州萩に生まれ、吉田松陰に
師事し、奇兵隊を率いて外国や
幕府と戦った高杉晋作。土佐を
脱藩し、薩長間を奔走して海援
隊を結成した坂本龍馬。

晋作も龍馬も明治という新時
代を見ることなく、この世から
去ってゆきました。

2人の子孫が大切に伝えた史
料の数々が、没後140年を経
て、初めて一堂に会します。こ
の機会にぜひ、幕末の青春の息
吹に触れてみてはいかがでしょ
うか。

晋作の甲



元治元年12月、下関拳
兵のさい首にかけていた

幕末長州藩の科学技術

大砲づくりに挑んだ男たち

4月9日まで

萩市内の郡司鑄造所跡から、
幕末期に洋式大砲を鑄造した石
組の遺構が発掘されました。

発掘された遺物や、郡司家秘
蔵の文献などを通して、郡司家
と鑄造づくり、砲術との関係を
明らかにします。

平成18年度企画展(予定)

長州ファイブ

密航留学生と明治維新

7月1日～9月3日

金閣寺・銀閣寺名宝展

9月16日～10月25日

井上剣花坊と川柳 萩に育まれ
近代川柳の旗手

四人の宰相 萩に育まれた近代
日本のリーダー

11月2日～12月10日

幕末志士たちの手紙

山根正次コレクション

12月18日～平成19年4月8日

開館時間 午前9時～午後5時
休館日 なし

入館料 大人500円、高校・
大学生300円、小・中学生
100円

山口県立萩美術館・
浦上記念館だより

(08388-242400)

人間国宝 三輪壽雪

東京と萩で作品展

萩焼の重要無形文化財保持者
(人間国宝)の三輪壽雪氏の作
品展が開催されます。

三輪さんは、1910年(明
治43年)、旧萩藩御用窯である
三輪家、九代雪堂の三男として
生まれました。旧制中学を卒業
し、兄の休和(十代休雪)に師事。
67年に十一代休雪を襲名。83年
に、人間国宝に認定されました。

作風は、萩焼400年の伝
統を受け継ぎながら、个性的
な造形感覚を表出するものです。

「鬼萩手」に代表される荒々し
く、大胆な土味と釉薬の表情な
どは、わが国の現代陶芸界で他
の追随を許しません。

◎東京国立近代美術館 7月15
日(土)～9月24日(日)



▲鬼萩割高台茶碗

企画展

鏡の中の宇宙展

3月12日まで

中国山東省の春秋・戦国時代
から清時代までの出土品を中心
に銅鏡80面を展示。

平成18年度企画展

華麗なるマイセン磁器

シノワズリー、ロココから
アール・ヌーヴオーまで

4月8日～5月28日

西洋を代表するやきものとし
て世界中で愛される華麗なマイ
セン磁器の世界を、113セッ
ト198点の作品により紹介。

色絵ロシアバレエ踊子像
「蝶になったキアリーナ」



開館10周年記念

雅／俗

浮世絵に見る風雅と風俗

6月10日～7月30日

『雅と俗』という視点から浮
世絵の歴史を見直し、『雅と俗』
が不即不離の関係であった江戸
文化全体への思いを馳せていく。

開館10周年記念

陶器が語る来世の理想郷

中国古来の暮らしと夢

建築・人・動物

8月12日～9月24日

建築物や陶製ミニチュア、働
き、舞い踊って生活を楽しむ
人々や彼らとともに暮らす動物
たちを形にした備などによって
中国古代の人々の生活の息吹と
夢をたどる。

人間国宝

三輪壽雪の世界

10月7日～11月26日

三輪壽雪芸術の芸術の世界を
約150点の作品で回顧。

シリーズ山東文物7

東方はるかなユートピア

煙台地区出土文物精華

12月9日～平成19年3月11日

山東半島東部の煙台地区の先
史時代から戦国時代までの考古
学資料を一堂に集めます。80点
の文物を通して朝鮮半島や日本
列島との文化交流を紹介。

開館時間 午前9時～午後5時
休館日 月曜日(祝日・休日の
場合は翌平日)

入館料 一般1000円、学生
800円

情報アラカルト

関東地区

- 茨城県陶芸美術館開館5周年記念「日本陶芸100年の精華」
陶芸家 兼田昌尚、三輪壽雪、十二代三輪休雪、三輪和彦、岡田裕の作品が展示されます。
とき 3月21日(火) まで
ところ 茨城県笠間市笠間2345 茨城県陶芸美術館 (02966700011)
- 椿山荘つばきフェア2006
椿の設置、萩市の椿の写真展示、ホテル内のレストランで食事とされた方を対象に萩市へのグルメツアー宿泊券が当たる抽選会等を行っています。
とき 3月10日(金) まで
ところ 東京都文京区関口2-10-8 椿山荘 (0339588686)
- 和のある暮らしのカタチ展
陶芸家 金子司の作品が展示されます。
とき 3月3日(金) ~ 5日(日) 午前10時30分 ~ 午後7時 (5日は午後6時まで)
ところ 東京都新宿区西新宿3-7-1 新宿パークタワー3階 リビングデザインセンターOZ ONE パークタワーホール

- (0353226500)
■岡田裕還暦記念作陶展
とき 3月22日(水) ~ 27日(月)
ところ 東京都豊島区 池袋西武 (0339810111)
- 三輪和彦 花冠展―地、天を指す―
とき 3月22日(水) ~ 28日(火)
ところ 東京都中央区 高島屋日本橋店 (0332114111)
- 日本現代工芸美術展
陶芸家 吉賀将夫、中村真一、田中秀男の作品が展示されます。
とき 3月26日(日) ~ 4月4日(火)
ところ 東京都台東区 東京都美術館 (0338236921)
- 萩の椿まつり in 板橋
萩の海産物や農産物 萩焼がお買得価格で販売されます。試食や観光案内コーナーもあり。
とき 3月25日(土)、26日(日) 午前10時 ~ 午後5時
ところ 東京都板橋区 大山商店街「とれたて村」(東武東上線大山駅西口) (0339588686)

関西地区

大阪指月会

- 関西地区の萩高同窓会。
とき 4月16日(日) 正午 ~ ところ 大阪市北区 大阪弥生会館(0663731841)
- 日本伝統工芸展
陶芸家 岡田裕、波多野善蔵、波多野英生、止原伸郎、野坂和左、松尾優子の作品が展示。
とき 3月1日(水) ~ 6日(月)
ところ 大阪市中央区 そごう心斎橋店 (0662813111)
- 萩俊英作家四人展
萩市の陶芸家 岡田裕、兼田昌尚の作品が展示。
とき 3月1日(水) ~ 7日(火)
ところ 大阪市中央区 高島屋大阪店 (0666311101)
- 三輪和彦 花冠展―地、天を指す―
とき 4月19日(水) ~ 25日(火)
ところ 京都市下京区 高島屋京都店 (0752218811)
- 野坂康起・和左展
とき 5月17日(水) ~ 22日(月)
ところ 三重県津市 松菱百貨

山口県関係

店 (0592281311)

- 毛利博物館の企画展
●お雛さま
大名家の婚禮道具を小さく模した雛道具装などを展示します。
とき 4月9日(日) まで
ところ 防府市多々良1-15-1 (0835220001)
- 九州地区
■藤崎恒頼油彩展(還暦記念展)
とき 4月19日(水) ~ 25日(火)
ところ 北九州市小倉北区 小倉井筒屋 (0935223111)
- 萩市関係
■中島範博「森の仕事展」
木の椅子、花入、器などが展示されます。
とき 3月9日(木) ~ 13日(月)
ところ 萩市下五間町 和風喫茶&京小物 徒然庵 (0838262428)
- 彩陶庵の企画展
●三輪華子展―愛蓮―
とき 3月18日(土) ~ 26日(日)
ところ 萩市呉服町 ぎやらりー彩陶庵 (0838253110)

山口県観光連盟協賛
萩焼作家松尾優子
陶華山藻風窯を訪ねる

「萩」極みの旅

萩焼女流作家との交流や、萩八景遊覧船、純和風の格式高い旅館でおいしいお食事を堪能いただけます。

とき 4月1日(土) ~ 3日(月) 2泊3日
宿泊 萩の宿 常茂恵(2連泊)
発着 羽田空港
主な行き先 萩博物館、萩八景遊覧船、松陰神社、イペント「ぼんぼり流し雛」、陶華山藻風窯(萩焼体験) など
料金 14万8000円(2人1室)

問い合わせ・申し込み 日本橋三越トラベルセンター (0332745272)

- ヴィレッジのコンサート
●鈴木良雄(ベース)トリオ
とき 3月12日(日) 午後7時
●秋吉敏子コンサート(ソロピアノ)
とき 5月14日(日) 午後7時
ところ 萩市土原 喫茶ヴィレッジ(0838256596)
- 傳宿天十平の企画展
●小黒三郎 組み木展
とき 3月5日(日) まで

問い合わせ 萩市南古萩町 俵宿天十平
(0838・26・6474)

■萩城下の古き雛たち
とき 4月3日(月)まで
ところ 萩市呉服町 旧久保田家住宅(菊屋家住宅むかい)
問い合わせ 萩市観光課

新規加入会員ご紹介

(12月21日～2月21日)

加入者22人

- 井上鏡子さん (萩市)
- 塚本千恵子さん (萩市)
- 山本行範さん (萩市)
- 河内山晶子さん(東京都豊島区)
- 波田絹子さん (萩市)
- 沖田実久さん (大阪府摂津市)
- 阿部登さん (埼玉県深谷市)
- 米原予詩江さん (神奈川県小田原市)
- 安川雅敏さん (愛知県小牧市)
- 大田幸夫さん (下関市)
- 今西笑子さん (大阪府大阪市)
- 福西明恵さん (大阪府大阪市)
- 岸吉勝さん (兵庫県猪名川町)
- 品川敏行さん (萩市)
- 草刈正治さん (奈良県平郡町)
- 馬屋原務本さん (萩市)
- 末田文夫さん (千葉県印西市)
- 永井明夫さん (鳥取県境港市)
- 坪井良子さん (東京都豊島区)
- 滝口治昭さん (萩市)
- 伊佐政次さん (萩市)
- 古谷英治さん (東京都荒川区)

(0838・25・3139)
■萩美術協会展
とき 5月13日(土)～17日(水)
ところ 萩市民館小ホール

出版情報

■図説「萩・長門の歴史」

知っているようで知らない萩・長門地方の古代から現代までの歴史を、気軽に読めるよう紹介した初めての本。
A4ワイド判/256ページ
定価 1万1550円

発行 郷土出版社

発売元 山口教科書供給株式会社 (0836・36・7302)

■「島へ。」28号(3月号)

島の情報が盛りだくさん、日本で唯一の島情報マガジンです。「島の春は土の香りから」と題して、見島が紹介されます。
A4判
定価 780円

発行 海風舎
(03・5275・7099)

テレビ情報

■「にっぽん菜発見

萩の夏みかんや人力車を、お笑いコンビテイク2の東貴博さんが紹介します。地元の人もなかなか知らないおいしいもの、それにつつまる話が満載です。
放映予定日 3月12日(日)午

前9時30分～10時
放映局 テレビ朝日

■金スベ「巨大マグロを追え山口・萩・見島」

一攫千金を狙ってクロマグロ漁に命をかける漁師に密着。マグロが釣れるまで、放映日は未定です。

放映予定日 金曜日 午後7時～9時
放映局 TBS

■ドラマ「ハルとナツ」(再放送)

萩市出身の俳優松本実さんが出演します。
放映予定日 3月27日(月)～31日(金)(5夜連続) 午前7時30分

放映局 NHK

お知らせ

◆萩・石見空港のダイヤが変わりました

東京便は、出発が朝早くになります。大阪便は、帰りの出発が夕方となり、昼間ゆっくり観光していただけます。

東京	▷	大阪	▷	萩・石見空港	▷	大阪	▷	東京
出発		到着		出発		到着		到着
6:55	⇒	8:25		9:30	⇒	10:55		
		着 14:00		15:50		着 17:15		19:10
13:00		発 14:45		16:15		発 18:00		

4/16まで **萩・まちじゅう味めぐり**

「萩の味覚」を萩の新しい観光戦略に・・・。

萩城下町を散策しながら、萩の味覚を楽しみませんか。

■問い合わせ 萩市観光協会 (0838・25・1750)

●期間中の主なイベント

味めぐり

- ▽4月16日(日)まで
- ▽萩市内各店(飲食店やホテル、酒造など約40店舗)
- ▽旬の素材を使った期間限定メニュー、新酒の試飲会など

萩・しろ魚まつり

- ▽3月5日(日) 午前10時～
- ▽山口県漁協萩地方卸売市場(道の駅「萩しーまーと」横)
- ▽しろ魚の踊り食い、四ツ手網体験、しろ魚即売など

萩の酒まつり

- ▽3月19日(日) 午後3時～5時30分
- ▽千春楽味楽亭(萩市堀内)
- ▽利き酒競技会、酒と肴を楽しむ会 ※チケット制(有料)

萩・春のさかなまつり

- ▽4月15日(土)、16日(日)
- ▽道の駅「萩しーまーと」
- ▽無料試食(瀬付きアジ寿司、まふぐ刺身・唐揚げなど)、鮮魚・活魚即売など

萩の特産屋台村

- ▽4月16日(日)
- ▽山口県漁協萩地方卸売市場(道の駅「萩しーまーと」横)
- ▽萩名産「アカケンウンニ」「ケンサキイカ」を使った料理ショー、ウニ飯無料試食など

3月から **萩八景遊覧船**

萩城跡横の指月小橋をスタートし、橋本川で平安古の旧田中別邸先をUターンする約40分のコース。

■運航期間 3月～11月 午前9時～午後5時(受付4時まで)

■料金 大人1200円

■問い合わせ 萩市観光課 (0838・25・3139)

GW中のイベント

■萩焼まつり

▽5月1日(月)～5日(金) 午前9時～午後5時30分

▽萩市民体育館

■萩・大茶会

▽5月3日(水)、4日(木) 午前10時～午後3時

▽萩城跡・指月公園ほか
■問い合わせ 萩市観光課

日本各地の「萩」①

ひえだ 稗田小学校

(福岡県行橋市下稗田)

一坂太郎 (萩博物館・特別学芸員)

伊藤博文は周防熊毛郡東荷(現在の光市)の農家に生まれ、少年のころ家族とともに萩に移り住んだ。幕末には吉田松陰に師事して、討幕運動に奔走。文久三年(一八六三)にはイギリスに秘密留学している。維新後は政治家としての道を歩み、初代内閣総理大臣を務めるなど、栄達を遂げた。長州出身でありながら、軍人にならなかった伊藤は教育・文化に貢献したという印象が強い。

明治二十二年(一八八九)、伊藤が娘生子の結婚相手として白羽の矢を立てたのも、「文学博士」の末松謙澄だった。末松は豊前京都郡前田村(現在の福岡県行橋市)出身。ジャーナリストとして活躍していたのを伊藤に見込まれ、政界に入り、伊藤政権下、通信大臣や内務大臣など要職を歴任した。また、伊藤の推薦により毛利家歴史編輯所総裁となり、『防長回天史』を編纂刊行したのはよく知られる。大正九年(一九二〇)没、享年六十六。

末松の生家跡に近い行橋市立稗田小学校は、学制が公布された明治五年の創立という古い歴史を持つ。周囲は田園が広がる、のどかな農業地帯だ。その校庭には高さ二メートルほどの石柱があり、「校舎建築費寄附、金壹百円 侯爵伊藤博文・金貳百円 男爵末松謙澄」と刻まれている。明治二十二年、新校舎の建築費用として、二人が寄附したのを記念し、当時の村長が建てた碑だ。寄付額を現代の貨幣価値に直すのは難しいが、少なくとも一百万倍を超えるだろう。

実は伊藤はこの前年、稗田村を訪れている。三度目の内閣を終え、山縣有朋に総理の椅子を明け渡した伊藤は、政党結成のため全国遊説の旅に出た。明治三十一年四月十日、長野で第一声を発し、関西地方を巡った後、九州に足を踏み入れる。行橋を訪れたのは五月十八日、西福寺において三百人あまりの聴衆を前に、外交の重要性について熱弁をふるった。そしてその夜は、稗田村の末松房泰方に宿泊している。娘婿の故郷で伊藤は何をおもい、一夜を過ごしたのだろうか。子供たちの歓声が響きわたる校庭の片隅で、いまま「伊藤博文」の名を見ることが出来るのは感慨深い。地方の教育に期待する伊藤の熱い思いが伝わって来るようだ。

萩を代表するイカは、ケンサキイカですが、冬場になると漁獲量が少なくなり、それと入れ替わりに旬を迎えるのがヤリイカ。ヤリイカとケンサキイカは種類が近いこともあり良く似ています。文字通り、槍のように尖ったスマートな体型で、腕足が短いのがヤリイカの特徴です。ケンサキイカに比べると多少弱々しい印象で、萩の漁師さんや仲買さんの間では、一般に「ヤセイカ」と呼ばれています。春が産卵期、岸近くの浅場に回遊し、定置網や一本釣りで漁で漁獲されます。

春の産卵期を前に胴体の中を「子持ちのヤリイカ」と呼んで、萩では特に珍重します。子持ちイカは煮物がお勧め。透き通った卵がまるで宝石のようで、見た目も美しい一品。飯タ



△伊藤博文

▽「伊藤博文」の名を刻む稗田小学校校庭の石碑



△現在の行橋市立稗田小学校

萩発 旬の味覚便り



を代表するイカは、ケンサキイカですが、冬場になると漁獲量が少なくなり、それと入れ替わりに旬を迎えるのがヤリイカ。ヤリイカとケンサキイカは種類が近いこともあり良く似ています。文字通り、槍のように尖ったスマートな体型で、腕足が短いのがヤリイカの特徴です。ケンサキイカに比べると多少弱々しい印象で、萩の漁師さんや仲買さんの間では、一般に「ヤセイカ」と呼ばれています。春が産卵期、岸近くの浅場に回遊し、定置網や一本釣りで漁で漁獲されます。

もちろん刺身やてんぷらにしても、ほのかな甘味と柔らかい食感で、なかなか美味しいイカです。魚市場に並んでいるイカはまだ生きていて透き通っていますが、店頭で並ぶ頃には透明感も無くなっています。店頭でも新鮮なものは指で触れると色素胞が活きていて、赤褐色に変わります。子持ちのヤリイカは1月から3月いっぱいまでが旬。子持ちかどつかは、見慣れると簡単に見分けられますが、やはり店頭でお魚屋さん聞くのが無難だと思います。